

2013 関東大会／建築・デザイン系専門部会企画Ⅱ

エクスカーション

☆重要伝統的建造物群保存地区 真壁地区復興・復旧現場見学☆

- ・2013年8月24日(土) 12:00～ ※車中にて各自昼食となります
- ・真壁地区(茨城県桜川市真壁町真壁) 13:00～15:30
<http://www.city.sakuragawa.lg.jp/index.php?code=455>
(桜川市公式HP観光ガイド)
- ・交通 電車の場合はJR水戸線岩瀬駅(タクシー20分)
車は関東能開大より約50分
- ・内容 伝統的建造物の修復現場の見学をまじえ、説明をして頂きます
周辺町並み散策
- ・参加費用 会員は1000円、会員外は2000円(マイクロバス交通費含む)



御陣屋前通りの町並み



下宿町の町並み

真壁地区は、筑波山北麓のたもとで周辺地域の産物が集散する在郷町として発展した。戦国時代を起源とした町割りが今も残り、数多くの古い建築が立ち並び、良好な町並み景観を形成している。

2010年6月、国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)に選定され、観光客誘致の期待が高まる2011年3月11日東日本大震災が発生し、古い建物も被害を受けた。中には完全に倒壊してしまった土蔵、石蔵なども存在するが、現在も復興・復旧作業が続けられている。

写真：文化庁HP <http://www.bunka.go.jp/bunkazai/shoukai/hozonchiku.html>

協力：科学技術振興機構(JST)戦略的創造研究推進事業「伝統的建造物群保存地区における総合防災事業の開発(研究代表者：横内基・小山高専)」プロジェクト